

事業名称	移動子ども食堂
団体名・代表者	特定非営利活動法人 菜の花企画 理事 宮家 洋子
協働の相手方	こども支援課

目的	生活困窮家庭へのこども食堂の開催情報の提供を、食事の提供もしながらより多くの人に知ってもらう。
内容	おにぎり 200 個と市内子ども食堂の開催情報クリアファイルを 11 時、12 時、13 時の 3 回に分けて配布
事業経過	12 月 7 日、8 日の両日とも、10 時～16 時にこども食堂 PR を実施 （11 時に 75 個、12 時に 75 個、13 時に 50 個のおにぎりとクリアファイルを配布。空き時間はマジックショーやけん玉体験会などを実施）
事業の効果	各日 200 個のおにぎり情報ファイルは、平均 15 分くらいで配布され、400 人の方へ情報をお渡しした。また、当こども食堂への来店も見られた。
今後の展望	毎年 12 月に同イベントを開催し、1 件でも 1 食でも支援する事で、市内でのこども食堂の活動を周知していきたい。

【実施団体の事業総括・感想等】

12 月 7 日・8 日共にお天気に恵まれ、延べ 400 名の子供たちにおにぎり市内のこども食堂情報クリアファイルを配布。もともとは、チラシと QR コードの配布予定だったが地図・一覧・永久カレンダーを印刷したクリアファイルをお渡しすることで、今は必要なくてもと言う方の手元にも残る形となった。クリアファイルを駅前配布したことにより、こども食堂と無縁だった子にも情報ツールが手渡され、使う使わないが見えにくくなることで、こども食堂いじめ問題（こども食堂の利用を知られると貧乏だといじめられる）の緩和の糸口となったと考える。事前周知のおかげか、おにぎり配布も 11 時・12 時・13 時の 1 時間ずつを配布時間に設定したが、各時間 7 分～15 分で配布終了となった。配布に携わった障害者ボランティア・サポートボランティアともに、子供さんの喜ぶ笑顔に同じく笑顔でお渡ししている姿が印象的であった。この事業の必要性を再認識した。来年度以降も、引き続き継続して行おうと思う。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

こども食堂は、地域において、経済的な理由や家庭の事情などにより食事を十分にとれない子どもの支援や、一人で食事をする孤食の解消等を目的に開催されている活動であり、本市においても、市内各所で開催されており、市ホームページで開催状況などの情報を掲載していますが、今回の活動により、より多くの方に情報を周知することができ、良い取り組みであったと思います。今後も活動を継続いただき、さらに支援の必要な方に情報を届けることができるよう活動を展開していただけることを期待しています。